

2020年1月6日

報道関係各位

2020年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社ツムラ

株式会社ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：瀬戸 純

TEL 03-6361-7100

2021年ビジョン実現の決意を

皆さんと共に新しい年を迎えられたことをうれしく思います。

2020年の干支は庚子^{かのえね}です。庚^{かのえ}は「更」という字に通じ、「継承・継続」の意味をもつ一方で、「更新・進化」の意味をもちます。子^ねは「滋^{しげる}」という字に通じ、物事が「ふえる」ことを意味し、繁殖力の強いネズミを指す字となったようです。総じて、庚子^{かのえね}は、これまでのものを継承しながらも、さらなる進化へ向けてチャレンジするのに適した年です。このチャンス^{かのえね}を逃さず、スピード感を持ち、今年やるべきことは今年中にやりきるようにしましょう。

当社を取り巻く環境は刻々と変化しています。社会貢献度の高い漢方・生薬という事業に従事し、かつトップメーカーであるという現状は、逆に私たちの組織を弱体化させてはいないでしょうか。組織の成長は「人」の成長でしかありえません。当社を取り巻く環境の変化に耐えうる、しなやかな企業であるためには、企業の基盤である「人」一人ひとりが自らを革新する覚悟を持たなければなりません。伝統とは革新の連続により生み出され、立ち止まった瞬間に崩れ去ってしまうものです。現在と同じ業務の進め方、同じ生産性、意思決定のスピードで本当に良いのかどうか。自らに厳しい目を向ける必要があります。

さらに、環境の変化だけではなく、さまざまな価値が時代とともに変わる可能性をはらんでいます。「健康」は人々の究極の願望ですが、「健康」の概念そのものも今後拡大し、多面化し、変容していくでしょう。漢方を科学する試みの中で、システム・バイオロジーやメタボロミクス、腸内細菌解析といった新しい切り口の研究も登場しています。IT、IoT、AIなどの新技術とミックスしたときに、私たちの事業はどこに焦点を当てるべきでしょうか。予防医療の領域には踏み込むのかどうか、Cure（治療）とCare（ケア）のはざまの領域にどのようなアプローチをしていくのか。近い将来、「医療」や「健康」という価値を、私たちがどこまで拡大、あるいは絞り込んで解釈し事業を展開していくのかを考えなくてはなりません。あらゆる可能性を探索する視点が必要です。漢方薬には「組み合わせの妙」があると言います。一見縁遠い、離れた分野のものであっても組み合わせ方によって、全体の働きや機能などがまったく異なるもの、もしくは優れたものになるという意味です。世の中の動きや新技術の進展などとの「組み合わせの妙」を発揮することを考えていきましょう。

時代が変化していく中で、どうやってより多くの人々の役に立ち、将来の社会にとってかけがえのない、なくてはならない存在となるのか。2021年ビジョン実現に向け、残る2年で何をどこまでやり遂げるのか。長期的に価値を創出し、寄与できる裾野を広げていくために、私たちの「在り方」も問い続けましょう。

2021年ビジョン「“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指して」で掲げる、「“漢方”のツムラ」「“人”のツムラ」「“グローバル・ニッチ”のTSUMURA」を実現させる決意を、新たにしましょう。

以上